

「赤城山環境ガイドボランティア養成講座 Step II」

主催：NPO法人赤城自然塾
協力：群馬県中部行政事務所、前橋市、国立赤城青少年交流の家、
期日：平成 23 年 6 月 12 日（日）、7 月 16 日（土）、10 月 22 日（土） 3 日間
場所：赤城山ビジターセンターおよび山上
対象者：①平成 22 年度 step I 修了生、②平成 23 年度 step II 受講予定者、③赤城山に関心を持つ新規応募者

時系列別報告

6月12日

参加者：35名

受講者：男子 19 名、女子 8 名

講師：3 名

事務局：2 名

来賓・オブザーバー：3 名

会場：赤城山ビジターセンターおよび山上(小沼、覚満淵)

9：00 赤城山ビジターセンターにて受付開始、赤城自然塾活動紹介 CD 上映

9：30 セバン・カリス・スズキの伝説のスピーチ上映

開講式：主催者挨拶、

来賓挨拶：酒匂 達雄 氏（群馬県中部行政事務所長）、下田 昭一 氏（前橋市商工観光課長補佐）



10：00 講義開始

赤城山ビジターセンターの活用について

講師：吉田龍司 氏



10：40

休憩

10:55 赤城山大洞付近の近代史

講師：斎藤 城樹 氏



12:00 午前の部終了

12:20 周遊バスつつじ号にて小沼駐車場へ
昼 食

13:00 小沼一周 初夏の自然観察

講師：篠原 豊 氏、吉田龍司 氏



15:00 鳥居峠～覚満淵



16:10 覚満淵入り口ミズナラ林ダンスの木にて集合写真撮影



レンゲツツジの見所は来週末になりますが、山上の賑わいは早朝から盛んでした。山上周遊バス開始初日と重なり、また、不節操な大型団体による駐車場の占有もあり、ビジターセンター駐車場スペース確保が困難となりました。急遽白川分校の校庭を確保し、受講生に利用してもらいました。

今回、初めて依頼した斎藤講師は 60 年赤城山山上生活の経験から、大変興味深いお話がでて、パワーポイントによる昔と今の赤城山の比較映像と体験に基くお話を釘付けとなりました。

受講生の一人からこの講座はビデオ等により、記録を残すべきとの提案もあり、7月2日の step I では考えてみたい。

ビジターセンターの活用については吉田講師により展示画像の内、赤城の植物を中心に半分ほど説明いただき、残りは7月16日に篠原講師が受け持つことになった。

周遊バスつつじ号にて小沼へ移動し、お弁当を食べた後、2班に分かれて吉田、篠原講師の指導の下、小沼一周から自然観察を始めました。

レンゲツツジの開花は遅れておりましたが、五葉ツツジ、東国ミツバツツジ等最高の見頃を体験し、お二人の講師の軽妙な語りも添えられ、感動しました。

五葉ツツジ（白ヤシオツツジ）の説明では「親戚の女の子（愛子様）の御しるし」の発言もあり、ユーモアに思わず誘われてしまいました。

覚満淵入り口のミズナラ林にあるダンスの木と銘々された大きなミズナラの前で、30名による集合写真を撮影し、本日の予定全てを無事終了しました。



小沼湖畔の五葉ツツジ（シロヤシオ）



白樺牧場 見晴台頂上付近のレンゲツツジ

7月16日

参加者：39名

受講者：男子23名、女子8名

講師：2名

事務局：1名

来賓・オブザーバー：5名

会場：赤城山ビジターセンターおよび山上(長七郎、小沼、覚満淵)

9:00 赤城山ビジターセンターにて受付開始

9:45 参加者の自己紹介

定期バスガイド添乗初日 第1便到着

添乗者：細谷泰治、根岸 稔、岡山 哲史

10:15 弁当配布後、小沼駐車場へ自家用車乗り合わせにより移動

10:30 長七郎へ向けて自然観察、解説



11:30 長七郎山頂にて昼食



13:45 篠原講師ビジターセンターの利用について

14:00 覚満淵の自然観察、解説



15:10 ビジターセンターにて定期バスガイドボランティア乗車について説明と依頼



15:35 終了、解散

下界の37℃をよそに、緑陰を流れる涼風をたのしみながら、step IIを実践することができました。本講座の実績を伝え聞いた方が数名、今回から参加されました、また、step Iの修了生で赤城山定期バスガイド初日として添乗した3名も参加され、総参加者数は39名になりました。

今回長七郎登山をプログラムに加え、11:30に登頂しましたが、南東面は雲海に覆われていて眺望は叶いませんでした。しかし、下界の暑さを避けたトンボの群れがたくさん飛び交っており、講師からトンボは37℃になると死んでしまう、そのため高所に移動してきているとの解説を聞きました。

前回(6/12)はシロヤシオをはじめ見事な花を体験できましたが、今回はノハナショウブ、ウスユキソウ、キンポウゲ、ヤマオダマキ、クルマユリなど可憐な花に会うことができました。また5月1日に覚満淵でササ刈りをしましたが、ニッコウキスゲも咲いていました。

途中、ビジターセンターで篠原講師により、前回説明しなかった半分の展示物について解説いただき、ビジターセンターの理解が深まりました

覚満淵入り口のミズナラ林では、ご家族や恋人同士が大木の木陰をたのしんでおられ、軽井沢より良いとの声も聞こえてきました。

今回、参加者の紹介をしてないため、9:45~10:15の間、一人1分程度で自己紹介をしました。参加の動機は様々ですが、赤城が好きという面は共通しております。

また、15:10~15:35の間、定期バスガイド添乗の報告と協力依頼を行い、実施に向けて期待が持てました。

10月22日日本講座3回目について、実施場所の希望、意見を聞きました。五輪尾根、オトギの森等が出ましたが、後日の決定としました。



10月22日

参加者：25名

受講者：男子13名、女子5名

講師：2名

事務局：2名

来賓：1名（須川美子中部行政事務所）、オブザーバー：2名（塩原純子、斎藤恵美子やる気塾）

会場：赤城山ビジター

9：00 赤城山ビジターセンターにて受付開始

9：30 雨のため当初予定していた五輪峠、小鳥が島の自然観察をビジターセンターレクチャールームでの座学に変更を発表、予定を伝達した。

10：15 吉田講師による講義

- ・ 配布資料を基にカエデについて解説
- ・ プロジェクターにより赤城のスマイレについて解説



11：05 篠原講師による シベリア・モンゴル訪問時の植物観察記録の紹介



12：00 昼食

13：00 AKAGI やる気塾作成の「赤城山ウォーキングマップ」を基に、お勧めスポット、コース等を定期バス乗車のガイドボランティア中心に発言頂き、質疑応答を実施した

棚橋 弘、高橋 寿子、福島 節夫、六本木 真弓

：マップにピンポイントの説明、カメラマーク、駐車台数表示が足りない、大沼北側/五輪峠は一押し、おとぎの森でヨガのグループを案内したが感動された、他



14:05 他の受講生に各自に赤城山の一押しを語ってもらった。

- : おとぎの森の楽しみ方として木を下から見上げる景色が素晴らしい、鳥居峠の西南部にアカヤシオの古木群落あり、小沼の氷上ウインドレース、アサギマダラ、星空、不動の滝のマイナスイオン、小沼のシロヤシオ古木群落、観光案内所のソフトクリームは人気がある
- : 来た人に対する接遇の心得を持って対応（リピーターとして他の人をつれてくる）、ガイドの乗らないバスのアナウンスにポイント紹介等一工夫があると良い、宣伝だ不足、他
- : AKAGI やる気塾のお二人から、勉強になった、目から鱗、マップの改良に取り入れたい等発言があった。



15:40 篠原副理事長より修了証書授与



平成 24 年度 step I、II、III を実施していく事発表、受講の意思ありの言葉もあった。



吉田 龍司理事より講評

16:20 終了解散